

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)医療法人春秋会城山病院駐	階数	地上2F
建設地	大阪府羽曳野市はびきの2丁目8番	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第2種中	平均居住人員	5人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2016年4月6日
敷地面積	22,086 m ²	作成者	雄健工業株式会社 齊藤孝広
建築面積	1,570 m ²	確認日	2016年4月7日
延床面積	2,996 m ²	確認者	雄健工業株式会社 齊藤孝広

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、外観図等を印刷いただけます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 55%
 ③上記+②以外の 55%
 ④上記+ 55%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7

機能性	N.A.
耐用性	2.8
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.5

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

地球温暖化	4.7
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
施設建設による周辺環境に影響の無い様配慮した。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
駐車場のみの構成の為、評価対象外	駐車場のみの構成の為、評価対象外	夜間照明の設置により防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用する事により省エネルギーに配慮した。	解体が容易となる材料の使用に配慮した。	施設建設に伴い周辺道路への渋滞緩和を考慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0009

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)医療法人春秋会城山病院駐車場増築工事					
	建設地	大阪府羽曳野市はびきの2丁目8番1号					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
	CO2削減					5	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	
【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
	項目	評価内容			スコア	評価	
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.7	5	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体		3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
	項目	評価内容			スコア	評価	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0		
その他							
		技術の名称			考慮事項		
	先進的技術の導入						
	特に配慮した事項						